

平成26年12月期決算(連結)参考資料

2015年2月13日

グリーンランドリゾート株式会社

(証券コード:9656)

<http://www.greenland.co.jp/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想や今後の計画等は、現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。今後、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動するリスクや不確実性が存在します。

従いまして、業績予想や今後の計画等の実現を保証するものではありません。

目次

1. 平成26年12月期決算	3
2. 平成27年12月期業績予想	7
3. 業績推移	8
4. 役員等人事	9
5. 役員体制	12
6. 2015年の取り組みについて	13

1. 平成26年12月期決算

① 連結

(単位:百万円)

	平成25年	平成26年	増減	増減率
売上高	7,873	7,518	△355	△4.5%
営業利益	360	242	△117	△32.6%
経常利益	309	268	△40	△13.2%
当期純利益	191	171	△20	△10.6%

【概況】

当連結会計年度は、ゴルフ事業や北海道の遊園地及びホテル事業は堅調であったものの、主力事業である九州の遊園地及びホテル事業が多くのお客様の集客が見込まれる繁忙日に悪天候に見舞われたことに加え、夏の記録的な長雨や大型台風の接近により低調に推移したため、当社グループの業績は前連結会計年度を下回る結果となりました。

【売上高及び営業利益】

売上高で355百万円減収に対して営業利益117百万円減益の要因は、主に遊園地事業の減収減益によるものであります。
 (②のセグメント別表をご覧ください。)

【当期純利益】

経常利益の減益40百万円に対して、特別利益の減益41百万円、法人税等の61百万円減少等により、当期純利益は20百万円の減益となりました。

② セグメント別売上高・営業利益

(単位:百万円)

	売上高			営業損益		
	平成25年	平成26年	増減	平成25年	平成26年	増減
遊園地事業	4,156	3,854	△301	448	364	△84
ゴルフ事業	1,008	1,023	14	5	33	28
ホテル事業	2,130	2,159	28	29	△8	△38
不動産事業	166	160	△6	115	93	△21
土木・建設資材事業	410	320	△90	55	48	△6
消去又は全社	—	—	—	△294	△289	5
合計	7,873	7,518	△355	360	242	△117

【遊園地事業】



売上高：九州の遊園地では、季節毎の多彩なイベントの開催やイルミネーションの拡充及びアトラクションの新設などの園内施設の魅力向上に取り組みましたが、繁忙日の悪天候に加え、夏の記録的な長雨や大型台風の接近により、361百万円(△10.2%)の減収となりました。

北海道の遊園地では、種々のイベントの開催効果やゴールデンウィークの好天により利用者数が増加し、スキー場についても順調に推移した結果、北海道の遊園地事業で70百万円(11.7%)の増収となりました。

その他、前年4月30日で営業終了した、九州のモータースポーツ施設「モビリティおおむた」の営業終了までの売上等が前年売上に含まれております。

以上の結果、遊園地事業の売上高は前期比301百万円減収(△7.3%)の3,854百万円となりました。

営業利益：園内清掃等管理業務の直営化等による経費節減も通年で効果をあげましたが、売上高の減少により84百万円減益(△18.7%)の364百万円となりました。

【ゴルフ事業】

売上高：直営3ゴルフ場では多彩なイベントの開催や、コースの整備・改良、浴室などのクラブハウス内設備の改修を実施してまいりました。また、メンバーズゴルフ場においては、キャディ付プレーを積極的に販売し、他ゴルフ場との差別化を図りました。さらに3ゴルフ場のレストラン共同で地元ブランド牛を使用した高単価商品の販売にも取り組み、満足度の向上と単価アップに努めました。

海外ゴルファーの誘客にも積極的に取り組み、売上拡大に取り組むとともに、相互施設利用提携におきましては、国内外7ヶ所目となる、韓国の大邱(テグ)カントリークラブと新たに契約を締結し、3ゴルフ場の付加価値の向上に取り組みました。

以上の取り組みの結果、3ゴルフ場を合わせた入場者数は減少したものの、客単価アップなどの取り組みも功を奏し、売上高は前期比14百万円増収(1.4%)の1,023百万円となりました。

営業利益：売上高の増加に加え費用の徹底的な削減により、営業利益につきましては、前期比28百万円増益の33百万円となりました。

【ホテル事業】

売上高 :九州のホテルでは、様々な商品造成に取り組むとともに、飲食店舗の改装により各店舗の特色を打ち出し様々なニーズに応えることで集客に取り組みました。また、遊園地内ショップ営業では大型2店舗の営業を引き継いだことで、既存各店舗も含め商品構成の見直しを図り、売上の増加に取り組みました。

北海道のホテルでは、改装した客室の積極的な販売や様々なイベントの開催により集客を図りました。また、4月からは新たに北村中央公園・桜つつみ公園の指定管理者を受託し、売上の増加を図りました。

九州のホテル事業で遊園地大型店舗が加わったこと等により前期比10百万円の増収(0.7%)、北海道のホテル事業で前期比18百万円の増収(3.0%)となり、ホテル事業の売上高は、前期比28百万円増収(1.3%)の2,159百万円となりました。

営業損失:九州のホテル利用者数の減少で前期比38百万円減(前年は営業利益29百万円)の8百万円となりました。

【不動産事業】

売上高 :新規の賃貸があったもののウルトラマンランド営業終了による土地の賃貸料収入が減少したため、売上高は前期比6百万円(△3.7%)減収の160百万円となりました。

営業利益:前期比21百万円減益(△18.8%)の93百万円となりました。

【土木・建設資材事業】

売上高 :一部受注工事の終了により土木資材の販売が減少したため、前期比90百万円減収(△22.0%)の320百万円となりました。

営業利益:売上高の減少に伴い、前期比6百万円減益(△12.2%)の48百万円となりました。

2. 平成27年12月期業績予想

(単位:百万円)

	平成27年予想	平成26年実績	増減	増減率
売上高	7,800	7,518	281	3.7%
営業利益	310	242	67	27.6%
経常利益	280	268	11	4.2%
当期純利益	180	171	8	5.0%

上記業績予想の数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は上記予想の数値と異なる可能性があります。

3. 業績推移

連結(通期)

(単位:百万円)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年予想
売上高	7,329	7,635	7,873	7,518	7,800
営業利益	170	269	360	242	310
経常利益	92	205	309	268	280
当期純利益	57	127	191	171	180

4. 役員等人事

平成27年3月30日開催予定の定時株主総会及びその後の取締役会において正式に決定

1. 新任取締役候補

取締役(常勤) 田中宏昌 昭和37年4月4日生 52歳

【略歴】

平成18年1月 当社メンバーズゴルフ事業部総支配人

平成20年1月 当社営業部次長

有明リゾートシティ株式会社取締役ブランカ総支配人

平成21年2月 当社営業部次長兼社長室長

平成22年6月 当社営業部次長

平成23年3月 グリーンランド開発株式会社常務取締役

平成25年3月 同社代表取締役社長(現任)

2. 昇任予定取締役

常務取締役(常勤) 松野隆徳 (現 取締役総務部長兼ゴルフ事業部総支配人)

3. 退任予定取締役

常務取締役(常勤) 北岡鋭毅 (現 常務取締役遊園地事業部長)

※同日付で当社常勤監査役に就任予定であります。

4. 新任監査役候補

監査役(常勤) 北岡鋭毅 昭和27年2月14日生 63歳

【略歴】

平成13年9月 当社総務部長

平成17年3月 グリーンランド開発株式会社代表取締役社長

平成18年3月 当社取締役不動産事業部担当

平成20年1月 当社取締役遊園地事業部長、不動産事業部担当

平成22年3月 当社常務取締役遊園地事業部長、不動産事業部担当

平成25年3月 当社常務取締役遊園地事業部長、不動産事業部、施設部、
グリーンランド開発株式会社担当

平成26年1月 当社常務取締役遊園地事業部長

監査役(非常勤) 藤田直己 昭和28年6月12日生 61歳

【略歴】

昭和60年10月 太田昭和監査法人(現新日本有限責任監査法人)入社

平成24年7月 公認会計士藤田直己事務所所長(現任)

※北岡鋭毅氏は、定時株主総会後の監査役会における監査役の互選により、常勤監査役に
就任予定であります。

※藤田直己氏は、社外監査役候補者であります。

5. 退任予定監査役

監査役(常勤) 吉田博文

監査役(非常勤) 永利新一

※吉田博文氏は、同日付で当社顧問に就任予定であります。

6. 取締役の役職異動及び担当職務の変更(平成27年3月30日)

氏名	新役職	旧役職
重光敬明	常務取締役 営業部長 有明リゾートシティ(株)代表取締役社長	常務取締役 有明リゾートシティ(株)代表取締役社長
松野隆徳	常務取締役 遊園地事業部長	取締役 総務部長兼ゴルフ事業部総支配人
渡邊和雄	取締役 有明リゾートシティ(株)常務取締役総支配人	取締役 経理部長兼不動産事業部長
幕 宰	取締役 不動産事業部長 グリーンランド開発(株)代表取締役社長	取締役 有明リゾートシティ(株)取締役総支配人
田中宏昌	取締役 総務部長兼ゴルフ事業部総支配人	グリーンランド開発(株)代表取締役社長

7. 部長級人事異動(平成27年3月30日)

	新役職	旧役職
寺田尚文	経理部長	営業部長

5. 役員体制

当社の役員陣容は以下のとおりの予定であります。(平成27年3月30日)

代表取締役社長	江里口俊文	
常務取締役	重光敬明	営業部長 有明リゾートシティ(株)代表取締役社長
常務取締役(昇任)	松野隆徳	遊園地事業部長
取締役	渡邊和雄	有明リゾートシティ(株)常務取締役総支配人
取締役	幕 宰	不動産事業部長 グリーンランド開発(株)代表取締役社長
取締役(新任)	田中宏昌	総務部長兼ゴルフ事業部総支配人
社外取締役	有村文章	西部瓦斯株式会社取締役常務執行役員
社外取締役	上野豊徳	株式会社肥後銀行取締役専務執行役員(代表取締役)
常勤監査役(新任)	北岡鋭毅	
社外監査役	中尾哲郎	弁護士 中尾総合法律事務所所長
社外監査役	水本忠敬	税理士 水本税理士事務所所長
社外監査役(新任)	藤田直己	公認会計士 公認会計士藤田直己事務所所長

6. 2015年の取り組みについて



①これまでの主な取り組み

【2013年度以前の取り組み】

- 空知リゾートシティ(株)、岩見沢市より「いわみざわ公園」及び「北村温泉ホテル」の管理業務を受託
- 蔚山カントリークラブ、中国南山ゴルフグループ、釜山カントリークラブ、パミーヒルズカントリークラブ、昌原(チャンウォン)カントリークラブ、北海道岩見沢市エムズゴルフクラブと相互施設利用契約締結
- 遊園地駐車場敷地内にナフコ荒尾東店オープン、ゴルフ場に隣接する社有地にメガソーラー事業を誘致
- グリーンランド(熊本)で九州初登場の新規アトラクション「スターフライヤーゴクウ」をオープン、日本最大級の高さ5メートルの「くまモン」立体像を設置
- 有明リゾートシティ(株)とグリーンランドサービス(株)の合併により有明リゾートシティ(株)の収益向上を図る
- 外部委託していた遊園地・ホテル・ゴルフ場の管理業務を、グループ企業での実施に切替える。
- 大牟田ゴルフ場・広川ゴルフ場の会員権の預託金返還請求債権の一部を出資の目的とした、自己株式の第三者割当を実施
- 長期会員権保有者及び高額会員権保有者への特典追加で会員権の価値を向上させ、会員権の安定保有を図る
- 遊園地及びホテルにおいてイルミネーションの拡充により魅力度の向上を図る
- 遊園地カウントダウン営業において、コンサートの特別観覧席をセットにした前売券を販売する等、単価増を図る
- 株主優待制度に北海道又は九州の地域特産品(1万株以上の株主)を追加設定し、株主の拡大・株式の安定保有を図る

【2014年度の取り組み】

- 遊園地の園路周辺・各遊具のイルミネーションを拡充させ、新たな光の演出に取り組む。また冬イベントにおける夜間営業の実施
- 「恋人の聖地」サテライト施設選定を受け、恋愛スポットの新設・既存施設のリニューアルにより、新たなブランド価値を創出
- からくり扉・トリックアートなどの仕掛けを駆使した、お客様体験・体感型施設「巨大立体迷路 KARAKURI城」の新設
大型プール施設ウォーターパークに新エリア「わんぱくバルーン」をオープン
- 入園料(グリーンランド遊園地(九州))、フリーパス料金(北海道グリーンランド)を改定し、年間を通して実施されるイベントの充実や施設の改善・拡充に取り組む
- 大邱(テグ)カントリークラブと相互施設利用契約締結
- 第27回全国日本料理コンクール郷土料理部門で東京都知事賞を受賞した料理長による郷土会席を提供し、話題性を喚起
- 北村中央公園・桜づつみ公園の指定管理者を受託し、売上高の拡大に努める

②各事業の取り組み

【遊園地事業】

①グリーンランド遊園地(九州)

■春イベント(3月7日～6月7日)

※上記以外に、6月の土・日にショー開催

・2015こども博 仮面ライダードライブ スーパーアクションバトルステージ

第一章「緊急指令発動」3月7日～4月24日(49日間)

第二章「超速大決戦」4月25日～6月7日(44日間)、6月13日～28日の土・日(6日間)

日本最大規模のステージで火薬や炎の演出、ワイヤーアクションを駆使した激しいアクションショーを開催

・特設！！『10周年記念モンスターハンター展 ミニキャラバン』in グリーンランド(3月21日～5月6日)

国民的大ヒットシリーズであるゲームソフト「モンスターハンター」を題材とした展示イベントを開催

■夏以降も、季節毎に話題性の高い題材を選定し、ここでしか見ることのできないイベントを開催

■イルミネーションのさらなる拡充

■九州最長を誇る「恐竜コースターガオー」を安全性の向上および乗り心地の改善のため大規模リニューアル

■遊具及び施設の点検整備や園内環境整備による安全面の強化

【遊園地事業】

②北海道グリーンランド遊園地

■春イベント

- ・わんわん大サーカス:4月18日～5月24日
- ・仮面ライダーライブスペシャルショー:5月2日～6日
- ・「妖怪ウォッチ」ショー:4月26日・29日、5月2日～4日
- ・Go!プリンセスプリキュアショー:5月5日・6日
- ・仮面ライダーライブショー:5月10日・24日・31日
- ・それいけ!アンパンマンショー:6月7日・14日
- ・スペシャルイベント
 - プリキュアオールスターズがやってくる! :5月17日
 - 歴代戦隊スペシャルショー:6月21日

■夏イベント

- ・大型音楽イベント「JOIN ALIVE」(ジョインアライブ):(7月18日・19日)
- ・北海道初開催 妖怪ウォッチランド

■立体迷路・こども向け遊具などの新規遊具導入や大観覧車など既存遊具のリニューアルによる新たな利用者の獲得

■入園料改定により売上高の増加を図る

■遊具の保守点検とメンテナンスの強化による安全面の強化

【ゴルフ事業】

- 着実な営業活動及び適正価格の維持
- レストラン・ショップの充実による客単価のアップ
- 地道な営業活動により増加した韓国客への万全な対応
- ゴルフスキルの高いスタッフが各種企画を通して顧客との距離を縮めることで、新たな営業活動につなげる
- ティーグラウンドやグリーンの拡張など、コース整備による魅力アップ
- 練習場の改修、乗用カートのリニューアルをはじめとした施設・設備面のグレードアップ
- キャディ付プレーの積極的販売の継続
- 他に類を見ない会員権所有者への各種特典を広く案内し、付加価値の高い会員権として、新たな会員獲得及び既存会員の継続につなげ、安定した利用者確保を図る
- 韓国・中国の6ゴルフ場及び北海道岩見沢市のエムズゴルフクラブとの相互施設利用において、提携ゴルフ場との交流をさらに推進する

【ホテル事業】

ホテルブランカ・ヴェルデ

■グリーンランドリゾート全体の宿泊拠点としての役割・機能強化

様々な商品造成・サービス展開によるオフィシャルホテルとしてのブランドイメージの向上

【ホテルブランカ】

- ・年間を通じたイベント(春から夏のバーベキュー、秋から冬の鍋イベント)を実施するとともに、内容と料金の見直しによる売上高の拡大に努める

【ホテルヴェルデ】

- ・スイートルームを利用した食事会プランの設定し、新たな顧客層を獲得
- ・海外からの宿泊者向けの予約システムを導入し、海外からのさらなる集客に努める
- ・館内外のイルミネーションを拡充し、魅カアップにより、レストラン・婚礼部門の集客を強化
- ・遊園地の春のイベント開催にあわせ「仮面ライダードライブルーム」を期間限定で新設するほか、プレミアム宿泊プランの設定など特徴ある商品づくりに努める

【ホテル事業】

ホテルサンプラザ・北村温泉ホテル

■遊園地・ホテル・公園をあわせたリゾート全体の魅力をアピールし、セットプランなどの販売で集客に努める

【サンプラザ】

- ・インターネット予約のさらなる強化及び団体獲得に注力
- ・バラ園でのウェディングなどの独自の魅力を発信
- ・企業・団体行事の獲得に注力

【北村温泉】

- ・宿泊・宴会・レストラン・温泉にパークゴルフを組み合わせたセットプランの販売を強化

九州及び北海道のリゾートエリアや施設利用提携先の情報を発信し、相互のエリアからの交流を通じた集客に努める

【不動産事業】

- ・新規テナントの誘致に向けた活動を強化
- ・各事業用地の周辺部を含めた景観改善の整備を進める

・グリーンランドリゾートエリアの変遷

- 昭和41年 7月 三井グリーンランド遊園地営業開始
- 昭和41年 9月 三井グリーンランドゴルフ場営業開始
- 昭和43年 9月 三井グリーンランドホテル営業開始
- 平成 6年10月 ホテルヴェルデ営業開始
- 平成 7年 6月 モナコパレスグリーンランド店オープン
- 平成10年 3月 天然グリーンランド温泉「弥生乃湯」オープン
- 平成15年11月 ヌルボンガーデン荒尾オープン
- 平成17年 4月 パスカワールドグリーンランド店オープン
- 平成18年11月 グリーンスマイル1番館オープン
- 平成20年 4月 グリーンスマイル2番館オープン
- 平成23年 9月 ナフコ荒尾東店オープン
- 平成25年 4月 大規模太陽光発電施設(メガソーラー)供用開始

【土木・建設資材事業】

- ・既存事業による収益確保
- ・土木建設工事の積極的な受注・コールサンドポゾテックなどの建設資材の販売強化による収益体制の底上げ